



各位

# エコワークス おひさまエコキュート標準仕様へ

～2050年脱炭素社会に向けた太陽光発電システムの更なる活用～

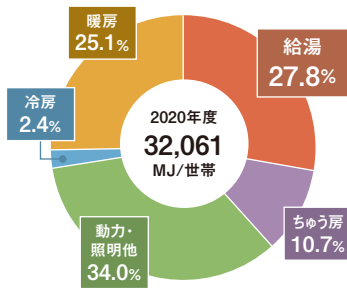
この度、エコワークス株式会社(本社:福岡市・代表取締役社長:小山貴史)は、2023年7月1日より太陽光発電システムを搭載した新築住宅において、「おひさまエコキュート」(ダイキン工業株式会社製)を標準仕様としました。弊社の新築住宅における太陽光発電システム搭載率は97%(※1)に上り、平均搭載容量も8.3kW(※1)と大容量であることから、太陽の恩恵を最大限活用できる「おひさまエコキュート」の採用を決定しました。給湯にかかるエネルギーの多くを太陽光発電による自家消費で賄うことでCO<sub>2</sub>を削減し、また光熱費を削減へと繋がります。弊社は、これからも省エネ機器や太陽光発電システムを活用した省エネな住まいづくりを通して、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んで参ります。

※1.2022年4月1日～2023年3月31日 弊社着工物件平均

## 太陽光発電を活用して 家庭内消費エネルギーを削減

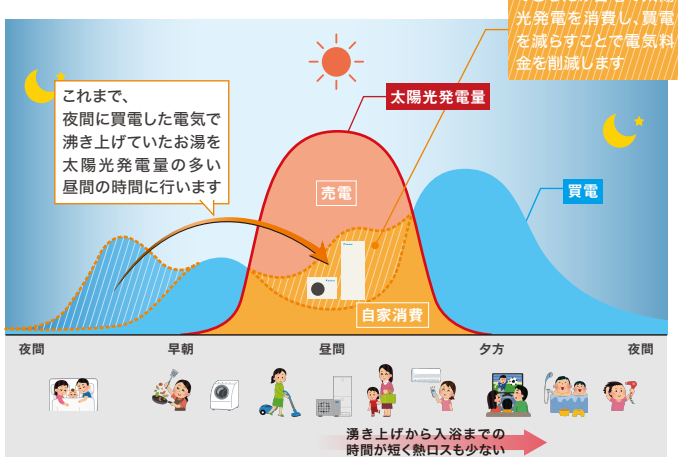
カーボンニュートラルに向けて家庭部門は、2030年までに温室効果ガスの排出量を2013年度比で66%削減することが求められています。特に給湯は、家庭内消費エネルギーの中でも占める割合が最も大きいので、給湯の見直しをすることは効果的な削減だと言えます。おひさまエコキュートは日中の気温が高い時間帯にヒートポンプを稼働させるため熱効率がよく、また沸き上げから入浴までの時間が短くて済むため、保温する時間も短くて済むことから省エネを最大限活用し、省CO<sub>2</sub>をより促進するため標準仕様といたしました。

世帯あたりのエネルギー消費原単位と用途別エネルギー消費



出典:資源エネルギー庁

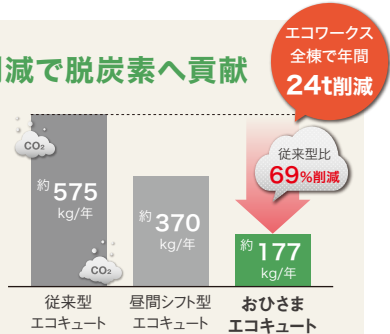
## 太陽光発電の発電量と使用電力量イメージ



## 太陽光発電と相性抜群 自家消費率向上で得られるメリット

### 1 CO<sub>2</sub>排出量の削減で脱炭素へ貢献

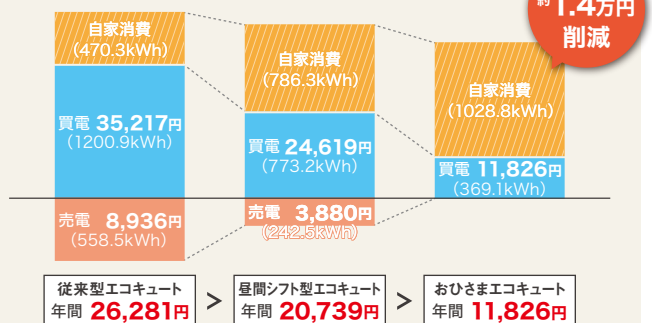
おひさまエコキュートなら、1棟あたり約69%のCO<sub>2</sub>を削減。エコワークスの全棟で標準化した場合、約24t/年の削減に繋がります。これは、一般家庭(約2.7t/年)の約9家庭分に相当します。



### 2 太陽光発電の有効活用で電気代削減

おひさまエコキュートは省エネ性が高く、太陽光で発電した電気を最大限に活かしてくれます。給湯にかかるエネルギーの自家消費率を増やすことで買電量が減るため、売電分を加味しても従来型に比べて年間約1.4万円の電気代を削減できます。

■エコキュート別の年間光熱費比較(※2)



※2.給湯で利用する太陽光発電の自家消費量は、全体の消費電力量から給湯分を按分して算出。おひさまエコキュートとその他エコキュートの自家消費量の差分を売電するとして試算

【試算条件】【共通条件】延べ床面積:120.08㎡(Ua値0.4/m<sup>2</sup>・K、6地域、A4区分)／太陽光発電:8.0kW／換気:3種換気／照明:LED／給湯負荷・太陽光発電の余剰電力:国立研究開発法人建築研究所「建築物のエネルギー消費性能に関する技術情報」平成28年省エネルギー基準に準拠した「エネルギー消費計算プログラム(住宅版)Ver2.5.4」により試算／売電価格:16円/kWh／CO<sub>2</sub>排出量計数:経済産業省・環境省公表(令和5年1月)「令和3年度の電気事業者別調整ご排出係数」より算出／政府支援による特別措置単価は含まず[従来型エコキュート及び昼間シフト型エコキュート]機種名:EQ37XFPV／電気料金:(九州電力 電化でナイトセレクト22単価+2023年7月の燃料費調整額(5.43円/kWh)+(再エネ賦課金)1.4円/kWh)[おひさまエコキュート]機種名:EQ37XFPV／電気料金:(九州電力 従量電灯B 電力単価+2023年7月の燃料費調整額(1.86円/kWh)+(再エネ賦課金)1.4円/kWh)

## 会社概要

商号：エコワークス株式会社

代表取締役：小山 貴史

事業概要：エコハウス(新築注文住宅)・施設的设计、施工販売 及び 性能向上リノベーション(リフォーム)

事業所：【福岡オフィス】福岡県福岡市博多区竹丘町1-5-38

【熊本オフィス】熊本県熊本市南区馬渡2-3-25

【神奈川オフィス】神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-2 横浜ブルーアベニュー 12F

モデルハウス：【福岡】・大野城モデルハウス(hit大野城住宅展示場内)・マリナ通りモデルハウス(hitマリナ通り住宅展示場内)

・春日2階建てモデルハウス(LCCM住宅)・春日平屋モデルハウス(リノベーション)

【熊本】・熊本モデルハウス(TKU住宅展示場 住まいランド内)・出仲間モデルハウス・出水モデルハウス(リノベーション)

設立：2004年4月21日

売上高：2022年度(9月期) 31億1,000万円(91棟)

グループ会社：株式会社WELLNEST HOME九州

受賞歴等：2009年 九州環境ビジネス大賞奨励賞(経済産業省)

3年連続「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>推進モデル事業」採択(国土交通省) ※2009年~2011年

3年連続「長期優良住宅先導的モデル事業」採択(国土交通省) ※2009年~2011年

2011年 「自立循環型住宅研究会フォーラム アワード2011」最優秀賞

2年連続「家庭エコ診断推進基盤整備事業 民間企業等試行実施事業」採択(環境省) ※2011年~2012年

2012年 全国第一号「LCCM住宅認定」最高ランク5つ星取得

熊本県知事表彰「くまもと環境賞 ストップ温暖化賞」

環境大臣表彰「地球温暖化防止活動 対策活動実践部門」

2013年 低炭素杯2013「最優秀家庭エコ活動賞」

熊本県初「低炭素住宅認定取得」

住宅業界初「九州エコライフポイント」対象省エネ製品認定

2014年 2年連続「九州エコライフポイント」対象省エネ製品認定

戸建部門唯一「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業 低炭素住宅化リフォーム推進プロジェクト」採択(国土交通省)

2015年 住宅業界初「ウッドデザイン賞」ハートフルデザイン部門 技術・研究分野

2016年 第10回「キッズデザイン賞」子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門 建築・空間(個別住宅)

第1回「サステナブル建築物等先導事業(省CO<sub>2</sub>先導型) 熊本地震復興支援型住宅先導プロジェクト」採択(国土交通省)

住宅業界初「ウッドデザイン賞」ハートフルデザイン部門 技術・研究分野

2017年 第1回「サステナブル建築物等先導事業(次世代住宅型) 地域ビルダー次世代住宅先導プロジェクト」採択(国土交通省) ※1

第2回「サステナブル建築物等先導事業(省CO<sub>2</sub>先導型) 地域ビルダーLCCM住宅先導プロジェクト」採択(国土交通省) ※1

2018年 第2回「サステナブル建築物等先導事業(省CO<sub>2</sub>先導型) レジリエンス住宅改修先導プロジェクト」採択(国土交通省) ※2

「LIXIL MEMBERS CONTEST 2017」省エネ部門「エコロジー賞」

第4回「日本エコハウス大賞」リノベーション部門 大賞

全国で5社「中小企業版2°C目標・RE100」設定支援事業(環境省)

2019年 サステナブル建築物等先導事業(LCCM部門)採択(国土交通省)「エコワークスLCCM先導プロジェクト」

2020年 福岡県初の「ZEB」認証取得(新本社改修工事)

熊本県初の「ZEB」認証取得(保育施設建築)

全事業所の使用電力を再エネ100%へ

ZEHビルダー評価制度「最高レベル5つ星」(3年連続)

G1・G2グレード住宅「施工実績優秀賞」(HEAT20) (3年連続)

2021年 九州初のSBT認定取得「2030年CO<sub>2</sub>排出量ゼロ企業」へ

ZEHビルダー評価制度「最高レベル6つ星」

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2020」特別優秀賞(2年連続)

2022年 地域工務店全国初「省エネ大賞」省エネ事例部門・省エネルギーセンター会長賞受賞

※1.一般社団法人ZEH推進協議会より提案受託 ※2.一般社団法人くまもと型住宅生産者連合会提案受託

問い合わせ先



エコワークス株式会社 【福岡本社】Tel. 092-404-9200

代表取締役社長 小山 貴史 (おやま たかし) 携帯:080-3909-3699 e-mail:oyamatakashi@eco-works.jp

広報室 松田 祥幸 (まつだ よしゆき) 携帯:080-3954-0335 e-mail:yo-matsuda@eco-works.jp